

令和8年度

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車

仕 様 書

小松市消防本部

第1章 総則

- 1 本仕様書は、小松市消防本部（以下「当本部」という。）が、令和8年度に購入する、災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（以下「車両」という。）の艤装、性能及びその他これらに関する必要な事項について定めるものとする。
- 2 本仕様書に定めるほか、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱、道路運送車両法及び道路運送車両の保安基準に適合し、日本消防検定協会の検査に合格し、新規登録手続きを完了し、緊急自動車としての承認が得られたものであること。
- 3 受注者は本仕様書を十分検討のうえ契約するものとし、契約後における一切の疑義は、すべて当本部の解釈に従うものとする。なお、契約後に本仕様書について当本部担当員と打合せを行い、細部についての確認を行うこと。
- 4 製作過程において、本仕様書に変更の必要が生じた場合は、契約金額に影響がない範囲で直ちに当本部と協議したのち、当本部あてに書面をもって提出し、承認を得た場合のみ仕様の変更をすることができるものとする。
受注者はこの仕様書にある機種指定品については、同等品以上であることが証明できる書面をもって消防本部の承認を受けた場合に変更が可能とする。
- 5 本仕様書に明記のないものについては、メーカー公表の標準仕様とする。
- 6 製作に使用する全ての部品等は、新品を使用すること。
- 7 受注者は、設計、製作、材料、部品等に関して、特許その他権利上の問題が生じた場合には、その責任を全て負うこと。
- 8 受注者は車両の製作に際し、受注後当本部と細部にわたり十分な打合せを行い、次の図書を各2部（内返却用1部）A4ファイルに綴じ、当本部に提出し承認を得ること。
 - (1) 製作工程表
 - (2) 製作図面
 - ① 艤装外観5面図
 - ② 主要装備品積載図
 - ③ ポンプ搭載・配管図
 - ④ 電動吸管巻き取り装置関係図
 - ⑤ 電気配線系統図

- (3) 重量及び重心位置計算書
 - (4) 諸元明細書
 - (5) その他当本部が指示するもの
- 9 車両納入時に、次の図書を各3部A4ファイルに綴じ、当本部に提出すること。
- (1) 完成図面(1/20)
 - (2) 電気配線系統図
 - (3) ポンプ性能表
 - (4) 車両(ポンプ等含む)、取付品及び付属品取扱説明書
 - (5) 取付品及び付属品保証書
 - (6) 改造計算書
 - (7) 自動車車検証(写し)
 - (8) 工程写真
 - (9) 完成写真(前面・左右側面・後面・上面)
 - (10) その他当本部が指示するもの
- 10 本車両の保証期間は納入後1年間(塗装、メッキは2年間)とする。ただし保証期間後であっても設計、工作あるいは材質の不良に起因するものについては、無償で取替え又は修理を行うこと。
- 11 保証契約締結から新規登録し納入までの諸経費は、受注者が負担するものとする。ただし、車両重量税、自動車損害賠償責任保険料、リサイクル費用は、発注者が負担する。
- 12 納期は、令和9年3月1日とし、納入場所は小松市消防本部とする。
- 13 旧車両の廃車に係る手続き及び処分費用は受注者が負担するものとする。納車後はすみやかに車体に表示された名称等を確実に消去し、車両の解体及び積載資機材を確実に廃棄することとする。車両の解体を目的とした永久抹消登録を行い、解体が行われた証明書及び報告書(写真付き)を提出すること。
- 14 本車両は、下記のシャシにA-1級ポンプと2,500Lの水槽及び自動泡混合システムを装備した四輪駆動方式とし、河川、消火栓等の水利より強力な放水をなし、火災現場の状況に応じて放水を行うことができるものとする。

第2章 シヤシ

1 主要諸元

(1) 型	式	5. 5トン級・ダブルキャブ
(2) 全	長	7, 300mm以下
(3) 全	幅	2, 300mm以下
(4) 全	高	3, 200mm以下
(5) 車両総重量		11, 000kg未満
(6) ホイールベース		3, 790mm以下
(7) エンジン		ディーゼルエンジン
(8) 最高出力		240ps
(9) 総排気量		5, 100cc以上
(10) 変速機		マニュアルトランスミッション
(11) 駆動方式		四輪駆動
(12) 乗車定員		6名
(13) 制動装置		空気油圧複合式ブレーキ (ABS付)
(14) タイヤ		ラジアルタイヤ
(15) 燃料タンク		100L以上
(16) バッテリー		145F51×2個

※車両運用端末装置 (AVM) 及び無線等に必要な電気容量を十分に確保できるものとする。運用後、業務に支障をきたす事が判明した場合は、それ以上の物と無償交換すること。また、点検等が容易に行えるよう引出し式とする。

- | | |
|---------------------------------|----------|
| (17) オルタネータ | 24V-90Ah |
| (18) オイルパンヒーター (キャブタイヤコード10m付き) | |
| (19) 動力伝達装置 (P.T.O装置) | |
| (20) エンジンアワーメーター | |
| (21) エンジン油温計 | |
| (22) エンジン回転計 | |
| (23) フロントサスペンション強化及びスタビライザー | |
| (24) リヤサスペンション強化 | |
| (25) 寒冷地仕様 | |

2 装備品

- (1) パワーステアリング
- (2) 電動格納式ミラー (熱線入り)
- (3) 電動キャブチルト装置 (支え棒付)
- (4) 後退警報装置

- (5) バッテリーメインスイッチ（確認灯付）
- (6) マニュアルエアコン（純正品）
- (7) SRS エアバッグ（運転席）
- (8) パワーウィンド（全ドア）
- (9) 集中ドアロック
- (10) AM・FM ラジオ
- (11) バックアイカメラ
- (12) ドライブレコーダー
- (13) LED ヘッドランプ（デイライト含む）
- (14) LED フォグランプ
- (15) フロントメッキグリル
- (16) 牽引用フック（前後）
- (17) サンバイザー（左右）
- (18) サイドバイザー（樹脂製）
- (19) 泥除けゴム（全輪）
- (20) ナンバーフレーム

3 付属品

- (1) フロアーマット
- (2) 国産製スタッドレスタイヤ7本（内スペアタイヤ1本：前輪同型）
- (3) タイヤチェーン
- (4) ブースターケーブル
- (5) 標準工具
- (6) 非常停止板
- (7) 牽引ワイヤー

第3章 車体の構造

- 1 車体の構造は、両側面各2面及び後面1面のシャッターを設けたオールシャッター構造とする。なお、各シャッターはバーハンドル式シャッターとする。
- 2 車体は、堅牢で十分な強度及び安定度を有し、機動性、耐久性、耐食性に優れ、重量バランスに優れたもので、常時登録された車両総重量の状態において、充分耐え得るものであること。また、車体の主要構造体であるサブフレームは鋼鉄製とし、それ以外の車体フレーム等は全てアルミニウム素材を使用し総体的な重量軽減を図るとともに、車体の重量バランスにも配慮すること。

- 3 車体フレームの主要構造体は、アルミニウムパネルにて構成された独立した左右の環状パネルフレームを結合し、構造体の強度は環状パネルフレームそのものと、左右各1本の支柱のみで担保し、その他の支柱、梁、壁等は強度部材として一切必要としない内部レイアウトの自由度の高い構造とする。なお、アルミニウム素材の使用にあたり応力や振動を緩和する装置を設けること。
- 4 車体に使用するアルミニウムパネルは防錆処理（アルマイト処理）を施したものとすること。
- 5 骨組みは、完全に自立する構造とし、側板、腰板等に直接大きな荷重を負担させないこと。
- 6 車両上部及び各ステップ類は、すべてアルミ縞板を使用すること。
- 7 ボディーに取付ける部品の取付けボルト及びビス類は、全てステンレス製を使用することとし貫通部分で危害を及ぼす部分は袋ナットを使用すること。
- 8 蹴り込み部等塗装剥離の恐れがある箇所には、ステンレスまたはアルミ板等の保護板を張ること。
- 9 側板とステップの交わる部分に水が滞留しない構造とし、錆の発生を防止するため十分な防錆処置を施すこと。
- 10 骨組とボディーの組み付けには、十分な錆止め処理を施し、錆の発生を防止する処置を施し、取付け合わせ目部分は全て防水処理等を施し水等が侵入しない構造とすること。
- 11 ステップは、端部周辺を折り曲げ、切断面の返りは仕上げ処理をし、身体に危害が及ばないように入念に仕上げること。
- 12 各ステップ兼用扉は軽量化を図るためアルミニウム製とする。
- 13 坂道勾配を考慮し、アプローチアングル及びデパーチャーアングルを確保すること。
- 14 燃料タンクは車体左下部に設置し、ステップに乗ることなく給油できる構造とする。

- 15 バッテリーは、点検及び交換が容易に行えるよう引出式とする。なお、バッテリー端子部分及び上面に、保護カバー等を設けること。
- 16 全輪に泥除けを取付けること。
- 17 アルミシャッター、扉等の開放警告灯をキャブ内に設けること（詳細別途協議）
- 18 手摺り及びステップは、昇降及び作業上必要となる箇所に設け、その他の部分にあっても当本部と協議の上、可能な限り設置すること。
- 19 その他、隊員の操作上及び安全上必要である装置及び設備については、当本部と協議の上、艤装すること。

第4章 艤装

1 キャブ艤装

- (1) 消防章（黒色危害防止板付）を、キャブ前面に取付けること。
- (2) キャブルーフはGFRP製ハイルーフとし散光式赤色警光灯一体型とすること。なお、散光式赤色警光灯はオールLED点滅灯（フラッシュコントロール機能付）とし、電子サイレンスピーカー及び電動サイレンを内蔵すること。
- (3) ハイルーフ両側面にLED標識灯を各1個設けること。
- (4) キャブ前面に赤色点滅灯2個を取付けること。
- (5) フロントバンパーにバウシャックルを取付け、付近に最大荷重を表示すること。
- (6) フロントバンパー上面はアルミ縞板張りとすること。
- (7) 後席乗降用ステップはワイドステップとし、右側には車輪止め固定装置、左側にはバッテリー引出装置（扉及びアルミ縞板カバー付）を設けること。
- (8) キャブ前面上部2ヶ所及び左右ドア部分4ヶ所に乗降用のアシストグリップを設けること。
- (9) 全ドア側面に赤色スレンダーLEDを取付けドア解放時に点灯させること。
- (10) 乗車席は、運転席1名、助手席1名、後部隊員席4名の計6名とし、全席にシートベルトを取付けること。
- (11) 前席中央部にセンターコンソールボックスを設け、別途指示する電装品を集約し取り付けること。（詳細は別途協議）
- (12) キャブ内中央付近に拡声器（天井固定式）を収納できるようにすること。

- (13) 前席と後席の中間にステンレス製握り棒を設け、地図収納ボックス（スチール製、A3 サイズ）及び S 字フック（脱着式）を 6 個設けること。また、地図収納ボックスの前面側に、取り外し可能な携帯無線機 3 台分の充電用ボックスを取り付けること。
- (14) 後席の背もたれは空気呼吸器が装着容易なようカット式シートとする。
- (15) 後席後部は張り出し加工を施し、空気呼吸器取付装置 4 基（ウォーカーウェイブラケット）及び面体フックを 4 個設けることとし、取付装置下部には、空気呼吸器を取り外さなくても出し入れが可能な資機材収納用ボックスを設けることとする。
- (16) キャブ内天井中央部及び空気呼吸器上部に資機材収納棚を設けること。棚の手前側には収納物の飛び出し防止措置を講じること。また、キャブチルト時に収納物が落下しないこと。
- (17) キャブ内天井の前後左右にルーフネットを 4 つ取付けること。
- (18) 全席に超防汚シートカバーを設けること。（カラーについては別途協議）
- (19) ナンバー枠を前後に取り付けること。
- (20) エアコンのダクトを後部座席の天井まで延長すること。

2 車体艤装

- (1) 車体両側板は嵩上げ加工を施し、シャッター内の開口面積を最大限確保するため、シャッターの巻取り装置は嵩上げ部分に隠蔽する構造とし、赤色点滅灯及び作業灯を埋め込み式にて左右各 2 個設けること。なお、シャッターはバー式アルミシャッターとすること。
- (2) ポンプ室上部は左右貫通の資機材収納庫とし、収納庫床面は左右に 200 mm 程度張出すものとし、左右に落下防止用可動式パイプを設けること。また左右天井付近にパイプ及び S 環フック（5 個）を各々設けること。
- (3) 左右ポンプ室下部はステップ兼用扉とし、内側にアルミ縞板を張り衝撃吸収ダンパーを取付けること。（詳細は別途協議）なお、扉は軽量化を図るためアルミニウム製とし、スムーズに開閉でき油圧ダンパーによる開放防止措置を施し、且つシャッターを閉めることにより開放をロックする構造とする。
- (4) 左右リヤフェンダー上部は水槽とし、左右リヤフェンダー部はステップ兼用の展開式扉とし、内部にアルミ縞板を張り衝撃吸収ダンパーを取付けること。また、左右フェンダー内に支点用の D 環を各 1 個取付け、強度を表示すること。
- (5) 後輪後方左右に資機材収納ボックスを設け扉は上部をシャッター式扉、下部はステップ兼用扉とする。なお、ステップ兼用扉は内側にアルミ縞板を張り衝撃吸収ダンパーを取付けること。また、扉は軽量化を図るためアルミニウム製とし、スムーズに開閉でき油圧ダンパーによる開放防止措置

- を施し、且つシャッターを閉めることにより開放をロックする構造とする。
- (6) 左右後方シャッター内は、資機材収納庫とし、収納スペースを構成する支柱等は、車両の経年における運用状況に合わせ、柔軟に位置変更が可能な構造とする為、アルミニウム製プロファイル材を用いること。
- また、車体と支柱、間仕切り板、側板等の連結については、同様の理由により、ビスによる固定方式を採用することとし、溶接による固定は行わないこと。
- また、器具収納スペースの容積については、可能な限り多く確保し、且つ積載品等の取り出し及び収納が容易な構造とし、必要に応じて積載品固定金具、間仕切り、棚、引出装置、水抜き穴等を設けること。(詳細別途打合せ)
- (7) 助手席側キャブとボディの間にとび口 2 本の取付装置を設けること。
- (8) 車体右側面後方シャッター内に展開式パンチングパネルを設け、表面に水利関係資機材、裏面に破壊関係資機材を取付けること。(詳細は別途協議)
- (9) 資機材収納室にレール付きの引出し式収納棚を装備し、ホース延長用資機材(ファーストライト HR5)を積載すること。
- (10) 資機材収納室にレール付きの引出し式収納棚を装備し、加圧排煙機を積載すること。
- (11) 車体上部に、三連梯子の展開式梯子昇降装置を設け、装置にはかぎ付き梯子も収納できること。
- なお、車両重量バランスを考慮し梯子昇降装置はアルミ製を使用し軽量化を図ること。また、未収納確認灯をキャブ内に設けること。
- (12) 車体上部に、昇降時の安全を確保するため、必要箇所に手摺を設けること。作業時アルミ縞板製の収納ボックスを最大寸法にて設け、棒吸管等が積載できる構造とすること。
- (13) 車体後部右側に車体上部昇降用展開式梯子(アルミニウム製)を 1 個設けること。
- (14) 車体後部シャッター内に牽引フックを取り付けること。
- (15) 各収納室の資器材積載方法にあつては別途協議とすること。

第 5 章 ポンプ装置

1 水ポンプ

- (1) 高圧二段バランスタービンポンプ(インデューサー付)とし、ポンプ性能は A-1 級とする。
- ① 大規模火災・高層建物火災・林野火災時に対応できるよう、放水性能は次のとおりとする。

- ア 規格放水量 0.85MPa で 2,800L/min 以上
- イ 高圧放水量 1.4MPa で 2,000L/min 以上
- ② 排水装置は、電動式とし、PTO スイッチに連動して作動すること。また、非常用 PTO を使用することで、エンジン停止時にドレンの開放をストップ出来る構造とする。
- ③ 軸封部は、真空漏れ発生時に増し締めまたは交換が容易に行え、故障時のコストが安価なグランドパッキン方式とする。

2 真空ポンプ

- (1) 偏心ロータリー無給油式5翼で真空ポンプ1機の排気量1,275cc以上とし、性能等は次のとおりとする。
 - ① 規定の吸水管（80mm×10m）を使用し試験をおこなったとき、試験時大気圧の84%に達する時間が15秒以内とする。
 - ② 漏気は30秒間に10mm³以内とする。
 - ③ 真空ポンプの耐久性向上及び凍結防止のため、主ポンプと真空ポンプの間に汽水分離器を設け、水及び泥などが進入しない構造とする。

3 自動揚水装置

真空ポンプの操作は、計器盤直近に設けた操作盤にておこない、作動ボタン ON により自動的に真空ポンプ駆動に適正な回転まで上昇し、揚水完了と同時にフローズイッチ（圧力検知は不可）により自動停止しアイドリング状態にもどる構造とする。なお、操作盤は各メーカー固有のものとする。

4 ポンプ操作装置

ポンプ操作装置の表示画面は液晶パネル式とし、「真空ポンプ作動状況」、「各放口・中継口・吸水口の開閉状況」、「揚水状況」、「エゼクターの開閉状況」「流量及び積算流量」、「ポンプ回転」等の表示が容易に確認でき、水の流れが容易に確認できる図形式とすること。

なお、主要な操作スイッチ（自動揚水、非常用真空、自動調圧、アイドリングスイッチ等）は操作が確実な押しボタン式とする。

5 ポンプスロットル

- (1) ポンプスロットルは電子スロットルとし、スロットルの使用状況が把握できるよう液晶モニターに表示できること。
- (2) ポンプスロットルは、誤作動を防止するため左右ともに右回転でスロットルアップするものとする。

6 自動調圧装置

ポンプ圧力を任意に設定し、設定圧力以下になった場合は設定圧力まで圧力を上昇させ、設定圧力以上になった場合は設定圧力まで圧力を下げる任意圧力安定機能、放水停止時及び緊急時等に押すとエンジン回転がアイドルリングまで降下するアイドルリング機能を設けること。

7 計器

- (1) ポンプ圧力計及びポンプ連成計（ブルトン管式・バックライト付・耐振型）を左右操作面に取り付けとする。
- (2) 流量計を左右に各 1 箇所設け、左右の液晶操作盤にて流量が確認出来ること。
- (3) 積算流量計は左右の液晶操作盤にて積算流量が確認できること。
- (4) ポンプ回転を左右の液晶操作盤にて確認できること。
- (5) ポンプアワーマーターを設け、液晶操作盤にて確認できること。
- (6) ポンプ操作面左右には、有効に照射出来る LED 式計器灯を設けること。

8 ポンプ配管

配管の曲部は努めて大きく取り、摩擦損失を最小限に抑えることとし、結合部はフランジを使用し点検整備時に脱着できる構造とする。
また、各配管は耐久性向上のため亜鉛メッキのどぶ漬け加工を施すこと。

9 吸水口

内径 75mm 以上のボールコックとし、電動吸管巻き取り装置（サイドプル方式）及び車両左側に各 1 個設け、電動吸管巻き取り装置は車体に対して垂直方向にポンプ室後方に配置し、左右どちら側からでも容易に引出せ、左右どちら側からでもロック及び解除ができる構造とする。

なお、吸管の取出しが容易に行えるよう吸管取出し口には金属製の三方ローラー及び巻き取り装置下部には金属製の補助ローラーを設けること。また、電動吸管巻き取り装置の吸管巻き取り速度は一定速度のものとする。（チェーンレス方式）

10 呼水装置

確認窓付エゼクター装置で放水量 1,000L/0.5MPa（吸水高さ 3.0m）のとき、呼水装置のバルブを全開しても落水せず 60 秒以内に揚水を完了するものとする。

11 放水口

内径 65mm ボールコックとし、ポンプ室両側に各 2 個設けること。

12 中継口

ポンプ室両側に各 1 個設けることとする。なお、右側の中継口は 75mm ボールコック（エゼクター装置付）とし、予備吸管が接続可能な構造とする。また、右側のボールコックには消火栓媒介金具を取り付け、常時中継口として運用するものとする。

13 水抜き

主ポンプ及び吸水口、ならびに中継口の水抜きは PTO 作動に連動させること。なお、放水口の排水装置は左右に各 1 個、手動バルブにて設けること。

14 冷却装置

冷却水は 2 系統とし、それぞれに操作バルブ、清掃が容易に出来るストレーナ及び、通水が目視できるカップを設けること。

15 給脂装置

ポンプグランド部へ給脂出来るグリスポンプを、ポンプ左側の適当な位置に設けること。

16 不凍液注入装置

ポンプ及び真空ポンプ配管の凍結防止のため、不凍液注入装置（カプラー式）を設けること。

17 自衛噴霧装置

熱風から隊員と車体を保護するため車体左右上部に各 3 ヶ所、自衛噴霧装置を設けること。

18 自動泡消火薬剤混合装置

- (1) クラス A 泡消火薬剤混合装置（F P-2 0 0 1 / 2 4 フォームプロ I 型）を取付けること。
- (2) 薬液タンクは容量 4 5L 以上とし、地上より薬液補給が行えるよう薬液注入ポンプを設け、ポンプ操作部より容易に薬液が補給できる構造とする。
- (3) 冷却水及びタンク水に混合液が混入しない構造とすること。
- (4) 薬液ストレーナーの点検及び清掃が容易に行える構造とすること。
- (5) ポンプ操作装置付近にデジタル式操作盤を設け、流量、積算流量、混合比率及び積算流量の表示切り替えが可能であり、且つ、混合比率の切り替えもできること。また、消火剤混合の ON・OFF 操作を可能とし、デジタル式流量表示盤を設け、各放口の放水量の切り替えができること。
- (6) プランジャーポンプはオイル交換がしやすい場所に設けること。

- (7) 混合装置の電源オンは PTO 連動とし、電源オフについては単独のスイッチを設け、車両の電源を切ってもデジタル表示コントロールモジュールの流量積算が保存される構造とすること。（別途詳細協議）

第6章 水 槽

- 1 水槽は2, 500L以上のGFRP製とし、上部に内径450mm以上のマンホールを設け、内部には水の動揺を防止する防波板を設けること。
- 2 構造は次のとおりとすること。
 - (1) 水槽から主ポンプへ吸水連結管は、内径75mm以上としボールコックを設け、車体両側で操作できるものとする。
 - (2) 水槽は自己補給が可能であり、主ポンプ吐水側と内径40mm以上としボールコックを介して接続し、車体両側で操作できるようにすること。
 - (3) 水槽には補給口（65mm差込メス金具・タンク停止弁付）を水槽左右側面に各1箇所設けること。
 - (4) 逆流によるウォーターハンマーから水槽を保護するため、タンク吸水コックは電動コックを使用し、吸水口及び中継口とタンク吸水コックが同時に開かないよう制御すること。
 - (5) 水量計は電子水量計とし、左右液晶モニターにて確認ができること。
 - (6) 水槽は、強度を担保するため水槽にかかる応力を緩和する装置を介し固定すること。
 - (7) 水槽には、内径100mm以上のオーバーフローパイプ及び排水バルブ又はコックを取付けること。
 - (8) 水槽内部は、清掃、補修が容易な構造であること。
 - (9) 水槽水取出し口を左右補給口付近に各1箇所設けること。
 - (10) ポンプの放水側配管から水槽へ送水できる構造とすること。

第7章 電装品及び警報装置

- 1 艀装メインスイッチ（確認灯付）をステアリングの右側に設けること。なお、艀装メインはシャシのバッテリーメインスイッチ連動とする。
- 2 電子サイレンアンプ、各種スイッチ（10連スイッチ等）及び消防無線機等はセンターコンソールボックスに取り付けすること。（配置詳細は別途協議）サイレンアンプ用のマイクを隊長席付近及び後部座席に1個と、左右ポンプ室に汎用マイク各1個を取付けること。

- 3 散光式赤色警光灯は FRP 製ハイルーフ一体型とし、オール LED 点滅灯（フラッシュコントロール機能付）とすること。なお、電子サイレンスピーカー及び電動サイレンスピーカーを内蔵すること。
- 4 標識灯（LED 式）をハイルーフ両側面に各 1 個設けること。
- 5 キャブフロントパネル部に赤色点滅灯を 2 個取付け赤色警光灯と連動させること。
- 6 車両の両側面嵩上げ部に埋め込み式にて赤色点滅灯を左右各 2 個取り付け、車両後部には、赤色点滅灯を左右に各 1 個取付けとする。なお、赤色点滅灯の作動は、散光式赤色警光灯と連動させること。また、後部はガード付とする。
- 7 車両両側面嵩上げ部に埋め込み式にて作業灯を左右各 2 個取り付けし、車両後部には、作業灯を左右各 1 個取り付けすること。また、後部はガード付とする。
- 8 車体上部に照明装置（ルーフロボットシリーズ E L タイプ^o・100W×4 灯）を取付けること。なお、操作リモコンは無線とし、左右ポンプ操作部に各 1 個設けること。
- 9 車体上部に夜間の足元を照らすように立ち上がり部に LED 照明を必要数取付けること。
- 10 LED 式の尾灯、停止灯、後退灯を車両後部両側に埋め込み式にて取付けること。
- 11 左右フェンダー部分に LED 路肩灯及び車体後部側面左右に LED 車幅灯を設け、スモール灯と連動すること。
- 12 ポンプ計器灯は、LED 灯とすること。
- 13 各ボックス内には、シャッター及びドアの開閉に連動して点灯する、LED 照明灯を取付けること。また、後輪フェンダー部のステップ兼用扉も含め、踏み板面は横一線に揃うようフルフラット構造とすること。さらに、左右ステップ 6 枚には赤色 LED を埋め込み式にて設け、展開時に点灯すること。（詳細は別途協議とする。）

- 14 キャブ後席天井部に LED 室内灯を取り付けること。
- 15 キャブ内に DC / AC インバーター（1000W 程度）を設け、4 口以上のコンセント（スイッチ付）を設けること。
- 16 キャブ内助手席 A ピラーにフレキシブルマップランプ（LED）を 1 個設けること。
- 17 過充電防止機能付バッテリー充電器（ずぼら充電器）を後席下部に設け、外部電源引き込みはオイルパンヒーターコンセントと兼用とし、防水用蓋付マグネットコンセント（丸型）とし、運転席側 C ピラー下部に埋込式（扉付）にて設けること。
なお、キャブ内に外部電源コンセントを設け、上記 15 インバーター用コンセント兼用とし、自動切替ができる構造とする。
- 18 電装品の取付け及び配線工事は、それぞれの電装品の容量に見合った配線及びヒューズを使用し、ヒューズボックスは艀装用として独立したもので、ボディーの配線貫通部はグロメット等で保護すること。
- 19 配線は、次のとおりとすること。
 - (1) 系統別に色分けすること。
 - (2) 配線貫通部には、すべてブッシュゴムを取付けること。
 - (3) ヒューズボックスは専用とし、系統別名称及び容量を記入すること。
 - (4) 機器類付近の接続部は圧着端子とし、端子にはビニールカバーを取付けること。
 - (5) 車体外部に露出する配線は、防水及び被覆保護のため、ビニールカバー付とすること。

第 8 章 消防用車載型無線電話装置及び車両動態管理装置（AVM）

1 消防用車載型無線電話装置

- (1) 車載型無線電話装置（支給品）は当本部が指定する車両から移設し、無線機本体、アンテナ、同軸ケーブル、送受信器（キャブ内：1、車外：2）、スピーカー（キャブ内：1、外部 2）等を取付けること。（アンテナ、同軸ケーブルは新品とする）
- (2) 車外無線装置はポンプ室左右に設け、スピーカー及び送受信器を左右各 1 個取付け、内外切替スイッチをキャブ内に設けること。

2 車両動態管理装置（AVM）

- (1) AVM（支給品）1式を別途指示する車両から移設すること。
- (2) モニターはキャブ内センターコンソールボックス前方に取付け、外部設定器はポンプ室左右に設けること。

第9章 塗装及び文字記入等

- 1 ステンレス及びアルミ以外の金属部は、すべて塗装あるいはメッキを施し、露出部分がないようにすること。
- 2 ボディーに取付けられた部品は、塗装前に一旦取外し塗装後再度取付け、取付け部の不塗装部分をなくするようにすること。
- 3 塗装要領
 - (1) 車体外側は、十分に素地調整を行った後、防錆加工を施し、入念に3回以上吹きつけ、磨き、つやだし仕上げを行うこと。
 - (2) その他の塗装する部分は、十分に素地調整を行った後、上塗りを3回以上行うこと。
 - (3) 塗装の色分け等は、次のとおりとすること。
 - ① 車体外側（シャッター含む）は朱色とする。
 - ② 車体下回りを、黒色及びアンダーコート仕上げをすること。
 - ③ ポンプ及び配管の塗装色は赤塗装とする。
- 4 文字記入等

車両の各部に記入する文字は、指定書体で、当本部の指定する文字を協議の上、記入すること。

 - (1) 機器の操作部分には操作ネームプレートを取付けること。
 - (2) 車両の各部にゴシック体で次のように文字を記入すること。
(詳細については別途指示)
記入文字：車両前面【小松7】車両左右【小松市消防本部】
標識灯【南消防署】シャッター【全面デザイン】
対空表示【小松P7】
その他（書体、文字色、表示方法、大きさ等）の詳細については別途協議する。
 - (3) 車両ナンバーについては「・700」とすること。

第10章 検査

この仕様書及び承認図書並びに受注者の標準仕様書に基づき、当本部の係員が立会いのうえ、次のとおり検査を行うものとする。

1 実施手続

実施のおおむね10日前までに文書をもって行うこと。

2 実施立会

営業及び技術担当者が立会うこと。

3 中間検査

塗装前の必要な時期に実施する。

4 完成検査

納入時、消防本部指定場所において実施する。

(1) 艀装全般検査

(2) 積載品及び付属品の規格、員数検査

(3) 外観検査

(4) その他必要な事柄

第11章 補 則

「消防車両の安全基準について」に基づき、受注者は納入後に取り扱い説明講習及び点検整備講習を3日間実施することとする。なお、取り扱い説明講習及び点検整備講習についての費用は受注者の負担とし、納入日前後に別途協議の上日程を決定するものとする。

別表 1 取付品及び取付装置

No.	品名	型式・規格	数量
1	ポンプ圧力計	φ100mm、耐振型	2 個
2	ポンプ連成計	φ100mm (リタード型)、耐振型	2 個
3	エンジン回転計		1 式
4	エンジン油温計		1 式
5	赤色警光灯	ハイルーフ一体型、オール LED フラッシュコントロール機能付	1 式
6	電子サイレン	音声合成式・TSK-D152(消防署標準メッセージ)	1 式
7	照明灯	ルーフロボットシリーズ E Lタイプ LED 100W×4灯、無線リモコン2式	1 式
8	後退警報器		1 式
9	標識灯	ハイルーフ両側面各 1 個・黄色	1 式

別表 2 軽微な変更として備えることができる取付品及び取付装置

No.	品名	型式・規格	数量
1	GPS ナビゲーションシステム	純正品	1 式
2	電動サイレン	ハイルーフ内蔵	1 式
3	真空計		1 式
4	ポンプ回転計	液晶モニター表示	1 式
5	流量計	左右各 1・液晶モニター表示	2 個
6	積算流量計	液晶モニター表示	1 式
7	キャブチルト装置	電動油圧式	1 式
8	オイルパンヒーター	10m コード付き	1 式
9	不凍液注入装置	カプラ式	1 式
10	スタッドレスタイヤ	国産製スタッドレスタイヤ 7 本 (内スペア タイヤ 1 本: 前輪同型)	7 本
11	作業灯	LIA-200 (両側面各 2、後部 2) 後部ガード付	6 個
12	車外無線送受話機取出口	左右ポンプ操作部シャッター内	2 式
13	反射材	再帰性に富んだ反射材	必要数
14	自衛噴霧装置 (左右)		1 式

別表3 備えなければならない付属品

No.	品名	型式・規格	数量
1	吸管	80mm×10m×1本、棒吸管(80mm×2.5mm×4本) (媒介金具75mmネジメス×75mm差込メス×2個)	2本
2	吸口ストレーナー	プラスチック製	2個
3	吸管ストレーナー	プラスチック製(ストカゴセットに含む)	2個
4	吸管ちりよけかご	ストカゴセット③、75mm差込メス型	2個
5	吸管まくら木	ゴム製	2個
6	吸管ロープ	10mm×15m(ストカゴセットに含む)	2本
7	消火栓金具	75mm差込メス×65mm差込メス	2個
8	中継用媒介金具	75mmネジメス×65mm差込メス…1個 65mmネジメス×65mm差込メス…1個 (中継口ストレーナー2個含む)	2個
9	消火栓開閉金具	金沢型消火栓キー、日之出式MH139型	各1本
10	吸管スパナ		2本
11	管そう	YONE Gフォーストリガーノズル(40mm用) ※ノズルアタッチメント2本含む(LXフォームノズル)	4本
12	ノズル	YONE ダブコンマークII	2本
13	放口媒介金具	65mmネジメス×65mm差込メス、スリーブ	4個
14	とび口	1.8m	2本
15	金てこ	900mm	1本
16	剣先スコップ		1丁
17	はしご	三連ステンレス製・KHFL-SIW87、搬送キャスター付	1脚
18	車輪止	中型用、黄色	2個
19	消火器	自動車用、ABC粉末6Kg入り	1本
20	ポンプ工具		1式
21	ホース	65mm×20m NSマーク付き2.0Mpa (65mm×10m NSマーク付き1.6Mpa×4本含む)	30本

別表4 軽微な変更として備えることができる付属品

No.	品名	型式・規格	数量
1	タイヤチェーン	シングルバンド付	1式
2	分岐管	YONE WB-65MC 又は同等以上の物	2個
3	ホースブリッジ	大阪サレワ製 CB450	1式

4	発電機	ホンダ EU9i 又は同等以上の物 (200W以上)	1 式
5	照明器具	充電式 LED 投光器 X-teraso 一式 又は同等以上の物 ※バッテリー、充電器込み	1 式
6	三脚	上記投光器専用三脚	1 脚
7	コードリール	上記投光器専用コードリール 30m	1 個
8	おの		1 本
9	掛矢		1 本
10	スタンドパイプ	単口引上げ式 (PS-65F・800) 不動型	1 本
11	特殊ノズル	アプリケーションノズル (40mm用・長さ 1.8m)	2 本
12	特殊ノズル用ホース	40mm×20m NS マーク付き 2.0MPa	4 本

別表 5 その他の取付品及び付属品

No.	品 名	型 式 ・ 規 格	数 量
1	空気呼吸器取付装置	後席 4 ウォーカーウェイ	4 式
2	空気呼吸器	エアウォーター防災製 ライフゼム A1-12 (29.4MPa 対応) ※携帯警報器付き (トレゲル・ホテイクート 1000)	4 基
3	ボンベ	ライフゼム・ブルネッカー 530CIII AZ 上下カバー付き	8 本
4	梯子昇降装置	バランスダンパー式	1 式
5	吸管巻取装置	双方向型電動吸管巻取装置 (サトフル式)	1 式
6	タンク停止弁		2 個
7	タンク補給口		2 個
8	前部赤色点滅灯	LFA-200	2 個
9	側面赤色点滅灯	LFA-200	4 個
10	後部赤色点滅灯	LFA-200・ガード付	2 個
11	室内灯	LED 式	2 個
12	マップランプ	LED 式	1 個
13	計器灯	LED 式	2 個
14	路肩灯	LED 式、バス型	2 個
15	車幅灯	LED 式	2 個
16	ボックス灯	LED 式	必要数
17	艀装メインスイッチ	確認灯付	1 式
18	機能集中型操作スイッチ	10 連スイッチ	1 式
19	DC/AC インバーター	1000W程度	1 式
20	バッテリー充電器	ずぼら充電器	1 式
21	消防無線機移設	株式会社 ほくつう	1 式

22	AVM 装置移設	株式会社 ゼネラル	1 式
----	----------	-----------	-----

別表 6 補助対象外の装備 (特殊艀装及び取り付け品等)

No.	品 名	型 式 ・ 規 格	数 量
1	消防章	スモークメッキ加工	1 個
2	電動格納ミラー		1 式
3	センターコンソール ボックス		1 式
4	書類ボックス		1 式
5	フロアーマット		1 式
6	コンセント	AC 外部電源	1 式
7	ドライブレコーダー	4 方向対応	1 式
8	バックモニター		1 式
9	泡原液	A 泡薬剤 20ℓ	5 缶
10	熱画像直視装置	フリーア-K55 又は同等以上の物	1 台
11	扉解放器具一式	ライトレスキューハリガン 30、アックス 又は同等以上の物	1 式
12	かぎ付き梯子	KHFL-TOT31 (チタン製)	1 台
13	電動破壊器具	ogura 製 RP-C160 C カッター ケース付 ※バッテリー、充電器一式込み	1 台
14	電動破壊器具	ogura 製 RP-S505 スプレッダー ケース 付 ※バッテリー、充電器一式込み	1 式
15	電動器具	インパクトドライバー TD173DRGX ビットセット E-06622 ※バッテリー、充電器一式込み	1 台
16	照明器具	タワーライト ML814 ※バッテリー (BL1860B)、充電器 (DC18RF)	1 台
17	照明器具	スタンドライト ML008G ※バッテリー (BL4040)、充電器 (DC40RA)	1 台
18	切断器具	ZENOAH 根切り機 減速式 RC6200P セミオートデコンプ	1 機
19	陽圧式送風機	ラムファン GX600 又は同等以上の物	1 台
20	ストップバルブ	YONE TS65	2 個
21	グラスマスター		1 本
22	電気自動車用消火シ ート	YONE ファイヤーブランケット CAR PRO X	1 枚
23	車輪止		2 式

24	担架	バーティカルストレッチャー ※アウタースキッド付き	1 式
25	縛帯	ベストスリング AZ1030- I 型	1 式
26	ホース延長資機材	ファーストライト	2 台
27	ホースバッグ	FS・JAPAN G50-65 又は同等以上の物	12 個
28	電動保冷温庫	CW004GZ ※バッテリー、充電器一式込み	1 台
29	ノズル	YONE 製 CAN	1 本
30	救助用ブロッカー式	ステップチョークセット、ロックブロッカー セット	1 式
31	マット型空気ジャッキ	マルチ・フォース SR-88D025-5232	1 式
32	チルホール TU-16	牽引ワイヤー10m×3 本、20m×3 本、玉掛ワイヤー10mm×1.5m×3 本、 おたふく滑車×1 個 径 150mm、ステンレスシヤックル 22mm×2 個	1 式

(担当)

消防本部警防課 柴垣

電話：0761-20-2709

メール：keibou-fd@city.komatsu.lg.jp